

医歯学系専攻

顎顔面外科学

Maxillofacial Surgery

教授 依田哲也

准教授

佐々木好幸、森田圭一

講師

儀武啓幸、高原楠旻

助教 友松伸允、原園陽介、(1月～)倉沢泰浩、(4月～)寺内正彦

特任助教

加地博一、外内えり奈、稲田大佳輔、(4月～)佐久間朋美、
金丸智紀、金裕純、(～3月)寺内正彦

医員 中村恵理奈、押部成美、(4月～)安西絵梨、

(～3月)佐久間朋美、木村敦、津田晋平、石橋麗未

大学院

朱虹霏、丸田上、山崎新太郎、田島理那、黒山かれん、
山崎功太郎、(4月～)郭侑加、蕭明遠、Vu Viet Duc、
(～3月)赤池優、中村大志

社会人大学院 柴田真里、岩崎拓也、(4月～)赤池優、中村大志

大学院研究生 六島聡一、香月祐子、(4月～)関素子、(5月～)于雅軒、

(3月)小室千鶴子、Vu Viet Duc、(～9月)熊谷順也

臨床教授

(4月～)佐藤文明、三島木節、(～3月)和気裕之

非常勤講師 山城正司、佐藤仁、宮地英雄、小林明子、八木原一博、佐藤豊、

黒原一人、愛甲勝哉、大山巖雄、長岡亮介、山田峻之、兵頭克弥、
山本大介、(4月～)蔦木洋平、北村智久、(5月～)益田洋輝、
(10月～)熊谷順也

(1) 研究活動

当分野では多岐にわたる顎顔面口腔領域の疾患に対し、以下のテーマを中心に研究を行っている。

1) 顎変形症：手術精度の向上と術後の顎骨の安定性を目的とした研究を行っている。特に上顎骨後方挙上について安全確実な術式の改良や、術前後の下顎頭の形態、安定性と後戻りとの関係、関節円板転位との関係についての検討をしている。シミュレーションソフト(Proplan)を用いた3次元的な骨干渉の確認、顎骨の移動様式の検討、CAD/CAM splintを用いた上顎位置決めバイトの作成を行い、手術精度の向上に努めている。さらには、顎骨や軟組織など術前術後の変化などを3次元的に評価・研究を行っている。骨接合の際に用いる吸収性プレートの力学的強度の研究を企業との産学連携研究として行っている。また、閉塞性睡眠時無呼吸症との関連、自己血貯血の実態調査、外科手術前後の栄養調査、意識調査・口腔衛生に対する評価を行い、実際の臨床に反映させている。三次元超音波振動切削機(ピエゾサージェリー、ソノペット)を導入し、神経血管・骨膜損傷を抑える骨切り等を行っている。また、クリニカルパスにより安全、確実な入院加療、術後入院期間の短縮を実現して患者に優しい医療を目指している。

2) 口唇口蓋裂：口唇口蓋裂患者の初回手術前より口蓋床を用い、術前顎発育誘導による歯列弓形態の経時的な変化について評価を行っている。口唇形成や口唇修正においては、解剖学的サブユニットに最大限配慮した手術を行っている。口蓋形成では、言語機能や顎発育の両面を考慮したよりよい術式を選択し、成長期における咬合状態と言語機能について評価を行っている。上顎劣成長、下顎前突に対しては、上下顎移動術のみならず上顎延長を適応する場合もあり、術後の後戻りや長期術後安定性について検討を行っている。これら顔面の形態評価については、これまでの2次元解析に加えてCTを利用した3次元解析を行っている。また、口唇口蓋裂を伴う症候群を中心として遺伝子解析を行い、病態解明や疾患概念の再構成、予防法の確立等を目指した研究を行っている。

3) 顎関節疾患：重度の開口障害を呈する咀嚼筋腱・腱膜過形成症の治療と、発症原因、重症化に関する臨床研究、基礎研究を進めている。また、顎関節に発生する滑膜軟骨腫症についての外科治療を行うとともに発症原因や病態解明についての検索を行っている。さらに、開発と実用化を実現した新しい型式の開口訓練器と開口度測定器について、臨床経験をもとに改良を行うとともにさらなる研究開発を進めている。また、人工顎関節の国内導入に積極的に関わり、臨床実績も着実に積み重ねている。

- 4) 口腔再建（顎骨再建、骨移植、インプラント、歯の移植）：重度歯周病、顎骨における腫瘍、嚢胞、外傷（骨折や歯の脱落）、先天異常などにより歯を失い、顎骨が失われる場合がある。失われた顎骨を機能的、審美的に回復させるために、自家骨や人工骨を用いてより低侵襲な顎骨再生を目指している。使用する人工骨においては新規材料を用いた臨床研究を行い、最適で安全な使用方法の確立を検討している。また、顎骨が再生された後はデンタルインプラントや顎義歯を用いて咬合機能を回復させ、それによる影響についての検討も行なっている。さらに咬合機能の回復においては、適応であれば歯の移植も積極的にを行い、生着率に与える予後因子の検討を行い、より確実な移植方法の開発や術式の標準化を目指している。
- 5) 口腔粘膜疾患：白板症、扁平苔癬などの口腔粘膜疾患に対する治療のために専門外来を設置している。また粘膜疾患の病態に対する原因の調査を、全身疾患、局所、心因性のものにわたって行い、治療には一部東洋医学も導入している。
- 6) 骨組織再生に関する研究：自家骨に代わる骨補填材料の開発が望まれており、その新規材料の開発のため、自家骨移植や既存の様々な骨補填材料との比較検討を行い臨床応用を目指している。その再生骨のアパタイト、コラーゲン配向性を評価することで、より詳細な骨質評価を行い、骨補填材料の使用法の最適化を検討している。また、歯根膜細胞や脂肪組織由来幹細胞を用いた骨再生にも取り組んでおり、さらに血管新生・骨再生を促進させる成長因子の DDS を付与した足場材料の開発も行なっている。
- 7) 口腔癌に対する基礎的研究：唾液腺悪性腫瘍の検体を利用した、腫瘍特異的遺伝子異常としての融合遺伝子に関する研究を行っている。また、舌扁平上皮癌における密着結合タンパク質の発現と、その浸潤先端部位における動態についての研究を行っている。

(2) 教育方針

口腔外科学においては口腔、顎、顔面領域に現れる先天性および後天性疾患について、その病因、病理、症状、診断、処置ならびに予後を理解させ、かつ、各種疾患の予防および治療に応用させるように教育する。口腔外科学で取り扱う範囲は非常に広く歯科と医科との重なり合った領域を扱うため、内科学、外科学ならびに隣接臨床医学とは密接な関係を有している。口腔外科学は一般に、歯およびその周囲組織を中心とした疾患を対象とする歯科口腔外科学と、顎口腔顔面領域にわたる疾患を対象とする顎口腔外科学に区分することができ、顎顔面外科学分野は顎口腔外科学分野と分担して教育する。

1-1 第5学年前期において、次の内容について講義を行う。

顎口腔医療（内容については顎口腔外科学分野と分担して行う）

- 1) 顎口腔顔面領域の奇形，特に唇顎口蓋裂
- 2) 顎口腔顔面領域の変形症
- 3) 顎口腔顔面領域の損傷
- 4) 顎口腔顔面領域の炎症・感染症
- 5) 顎口腔顔面領域の嚢胞
- 6) 口腔粘膜疾患
- 7) 顎口腔顔面領域の良性，悪性腫瘍
- 8) 顎関節疾患
- 9) 唾液腺疾患
- 10) 系統的骨疾患
- 11) その他

以上の疾患の成因、症状、診断、処置および予後について講義を行う。

1-2 第5学年前期に次の内容について実習を行う。

- 1) 臨床検査とその評価
 - (1) 一般簡易検査（血液型、赤血球数、白血球数、血色素量、血球容積、血球沈降速度、血液像、尿検査）
 - (2) 血液検査手技（静脈採血、動脈採血）
 - (3) 血清生化学検査、尿生化学検査（付、薬剤アレルギー検査、皮内反応）
 - (4) 顎部の診察
- 2) 滅菌および消毒法
手指の消毒，手術野の消毒，器械・器具の消毒など
- 3) 抜歯の基本手技
抜歯鉗子・挺子の使い方
- 4) 切開と縫合の基本手技
手術訓練用皮膚オプスキンをを用いた切開と縫合など

1-3 第6学年臨床実習

外来実習では抜歯およびその他外来小手術の基本手技、投薬など、病棟実習では入院患者に対する手術を理解し、術前・術後管理の基本などを修得する。

- 1-4 歯学部第6学年の特別講義を行っている。
- 1-5 医学部医学科第3学年および歯学部歯学科第3学年の顎顔面臨床ブロックの講義を担当している。
- 1-6 医学部医学科第4学年、口腔外科の講義、医学部医学科第5学年、口腔外科実習を担当している。
- 1-7 医学部保健衛生看護学科の講義を担当している。
- 1-8 医歯学総合研究科医歯科学専攻修士課程の講義を担当している。

(3) 臨床上的特色

臨床上的特色:近年の口腔外科疾患に対する治療法の進歩により最新かつ専門化した集学的治療体系が必要とされてきている。これに対応して当科では顎変形症、口腔悪性腫瘍、唇顎口蓋裂、顎関節、口腔粘膜疾患に対して専門外来を設け個々の患者へのきめ細かい対応ができる態勢を整えている。同時に集学的治療の実践のため、顎変形症や唇顎口蓋裂では症例検討会を矯正歯科外来と合同で行っており、口腔外科医と矯正歯科医が十分な検討を行った上で治療計画を立てている。また、悪性腫瘍に限らず病態が複雑な疾患や稀少な疾患を対象に口腔病理科、歯科放射線科と合同で臨床病理カンファレンス(CPC)を行い、症例について総合的に検討することにより、診断、治療に関わる知識を深め臨床に役立てている。

(4) 研究業績

[原著]

1. Masahiro Hakariya, Yoshinori Arisaka, Hiroki Masuda, Tetsuya Yoda, Takanori Iwata, Nobuhiko Yui. Suppressed Migration and Enhanced Cisplatin Chemoresponsiveness in Human Cancer Cell Lines by Tuning the Molecular Mobility of Supramolecular Biomaterials. *Macromolecular Bioscience*. 2022.12; e2200438
2. N Yamakawa, M Umeda, Y Yoshii, K Mitsudo, M Noguchi, J Kusukawa, A Katakura, H Nakayama, M Sasaki, T Noguchi, M Ueda, H Bukawa, K Yagihara, A Horie, A Miyazaki, D Chikazu, K Tomihara, K Mishima, M Otsuru, S Asoda, S Fujiwara, Y Ohyama, H Kurita, H Kawamata, M Fukuda, Y Shintani, T Kobayashi, T Kanno, I Oh-Iwa, K Kawano, Y Yamashita, W Kobayashi, Y Ohiro, K Uzawa, Y Ota, T Kirita. Multicenter retrospective study of nivolumab for recurrent/metastatic oral squamous cell carcinoma. *Oral Dis*. 2022.12;
3. Y Kurasawa, A Iida, K Narimatsu, H Sekiya, Y Maruoka, Y Michiwaki. Effects of Perioperative Oral Management in Patients with Cancer *JOURNAL OF CLINICAL MEDICINE*. 2022.11; 11(21);
4. M Shibata, A Ishikawa, J Ishii, E Anzai, H Yagishita, T Izumo, J Sumino, M Katsurano, Y Kim, H Kanda, M Ushijima, K Yagihara, T Yoda. Stiffness as measured with strain elastography is a prognostic factor for pT1/T2 tongue squamous cell carcinoma with muscle-layer invasion. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol*. 2022.11; 22;
5. M Shibata, K Yagihara, J Ishii, H Kanda, A Ishikawa. Two cases of secretory carcinoma in the minor salivary glands *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*. 2022.11; 34; 850-857
6. N Takahara, S Nakagawa, K Sumikura, T Yoda. Comparison of magnetic resonance imaging findings in patients with intermittent closed lock and acute closed lock of the temporomandibular joint: a cross-sectional retrospective study. *Oral Radiol*. 2022.10;
7. Yuka Tanaka-Takemura, Yoshinori Arisaka, Masahiro Hakariya, Hiroki Masuda, Ryo Mikami, Ruriko Sekiya-Aoyama, Takanori Iwata, Tetsuya Yoda, Takashi Ono, Nobuhiko Yui. Independent roles of molecular mobility and zeta potential on supramolecular surfaces in the sequence of RAW264.7 macrophage responses *Macromolecular bioscience*. 2022.09; in press(11); e2200282
8. C Michikawa, V Gopalakrishnan, AM Harrandah, TV Karpinets, RR Garg, RA Chu, YP Park, SS Chukkappallia, N Yadlapalli, KC Erikson-Carter, FO Gleber-Netto, E Sayour, A Progulsk-Fox, EKI Chan, X Wu, J Zhang, C Jobin, JA Wargo, CR Pickering, JN Myers, N Silver. Fusobacterium is enriched in oral cancer and promotes induction of programmed death-ligand 1 (PD-L1). *Neoplasia*. 2022.09; 31; 100813
9. Yoshinori Arisaka, Hiroki Masuda, Tetsuya Yoda, Nobuhiko Yui. Phototethering of collagen onto polyetheretherketone surfaces to enhance osteoblastic and endothelial performance *Macromolecular Bioscience*. 2022.08; 22(8); 2200115

10. J Iwanaga, S Ibaragi, T Okui, V Divi, Y Ohyama, K Watanabe, J Kusakawa. Cutaneous branch of the nerve to the mylohyoid muscle: Potential cause of postoperative sensory alteration in the submental area. *Ann Anat.* 2022.08; 243; 151934
11. N Tomomatsu, N Takahara, K Nakakuki, Y Kurasawa, T Iwasaki, T Yoda. Study of Morphological Changes in the Inferior Turbinate After Le Fort I Osteotomy. *The Journal of craniofacial surgery.* 2022.06;
12. Shigehiro Abe, Atsushi Kaida, Kazunori Kanemaru, Keiichiro Nakazato, Naoko Yokomizo, Yutaka Kobayashi, Masahiko Miura, Toshio Miki, Chiaki Hidai, Hisataka Kitano, Tetsuya Yoda. Differences in the stemness characteristics and molecular markers of distinct human oral tissue neural crest-derived multilineage cells. *Cell Prolif.* 2022.06; e13286
13. Y Kim, K Yagihara, J Sumino, M Katsurano, M Shibata, K Kadoya, A Ishikawa. Squamous cell carcinoma of the tongue in von Recklinghausen's disease: A case report *Oral and Maxillofacial Surgery Cases.* 2022.06; 8(2); 100255
14. N Takahara, N Tomomatsu, A Kimura, M Kosugi, Y Kurasawa, K Morita, T Yoda. Changes in the condylar volume and skeletal relapse following orthognathic surgery in patients with dentofacial deformity: A retrospective study. *Cranio.* 2022.05; 1-11
15. M Shibata, A Ishikawa, J Ishii, E Anzai, H Yagishita, T Izumo, J Sumino, M Katsurano, Y Kim, H Kanda, M Ushijima, K Yagihara, T Yoda. Stiffness of tongue squamous cell carcinoma measured using strain elastography correlates with the amount of collagen fibers in the tumor. *Oral Radiol.* 2022.04; 38(2); 278-287
16. M Shibata, N Takahara, N Tomomatsu, Y Kurasawa, Y Sasaki, T Yoda. Risk factors of neurosensory disturbances at 1 year postoperatively after bilateral sagittal split osteotomy *Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology, Oral Radiology.* 2022.04;
17. M Yumoto, Y Mizuno, Y Isozaki, KO Ito, T Yoda, T Sato. Analysis of Masticatory Muscle Tendon-aponeurosis Hyperplasia by Using Next-generation Sequencing. *In vivo (Athens, Greece).* 2022.03; 36(2); 563-569
18. M Terauchi, E Marukawa, K Hyodo, T Iwasaki, A Wada, H Harada, T Yoda. Conservative surgical treatment of odontogenic myxoma with preservation of the inferior alveolar nerve *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology.* 2022.03; 34(2); 156-163
19. D Husein, A Alamoudi, Y Ohyama, H Mochida, B Ritter, Y Mochida. Identification of the C-terminal region in Amelogenesis Imperfecta causative protein WDR72 required for Golgi localization. *Sci Rep.* 2022.03; 12(1); 4640
20. Y Harazono, K Morita, E Tonouchi, E Anzai, N Takahara, T Kohmoto, I Imoto, T Yoda. TP63 mutation mapping information in TP63 mutation-associated syndromes *Advances in Oral and Maxillofacial Surgery.* 2022.01; 5;
21. Yasuyuki Michi, Hiroyuki Harada, Yu Oikawa, Kohei Okuyama, Takuma Kugimoto, Takeshi Kuroshima, Hideaki Hirai, Yumi Mochizuki, Hiroaki Shimamoto, Hirofumi Tomioka, Hirokazu Kachi, Jun-Ichiro Sakamoto, Kou Kayamori, Tetsuya Yoda. Clinical manifestations of diffuse large B-cell lymphoma that exhibits initial symptoms in the maxilla and mandible: a single-center retrospective study. *BMC Oral Health.* 2022.01; 22(1); 20
22. T Aragaki, S Nakamura, K Sakamoto, M Suzuki, T Yoda, T Kurabayashi. MRI findings of a dermoid cyst in the floor of the mouth with "sac of marbles" sign: An immunohistopathological study(和訳中) *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology.* 2022.01; 34(1); 80-84
23. Yosuke Harazono, Kou Kayamori, Junichiro Sakamoto, Yu Akaike, Yasuhiro Kurasawa, Fumihiko Tsushima, Yoshiyuki Sasaki, Hiroyuki Harada, Tetsuya Yoda. Retrospective analysis of schwannoma in the oral and maxillofacial region: clinicopathological characteristics and specific pathology of ancient change. *Br J Oral Maxillofac Surg.* 2022.01; 60(3); 326-331
24. C Michikawa, PA Torres-Saavedra, NL Silver, PM Harari, MS Kies, DI Rosenthal, QT Le, RC Jordan, DY Duose, S Mallampati, S Trivedi, R Luthra, II Wistuba, AA Osman, O Lichtarge, RL Foote, U Parvathaneni, DN Hayes, CR Pickering, JN Myers. Analysis in Pathologically High-Risk Human Papillomavirus-Negative Head and Neck Cancer From a Phase 2 Clinical Trial: NRG Oncology Radiation Therapy Oncology Group 0234. *Adv Radiat Oncol.* 2022; 7(6); 100989

25. Y Ohyama, M Ogawa, S Yokoo. Novel Management for Severe Odontogenic Maxillary Sinusitis Based on Pathophysiology. *Case Rep Dent.* 2022; 2022; 1614739
1. 儀武啓幸. 【画像診断技術の新展開】顎関節疾患における MRI の活用と留意点 *日本歯科理工学会誌.* 2022.09; 41(3); 203-206
 2. 和気裕之、石垣尚一、澁谷智明、島田 淳、玉置勝司、松香芳三、山口泰彦、依田哲也、和気 創. 咬合違和感症候群の診療フローチャートの提案 *日本顎関節学会誌.* 2022.08; 34(2); 27-38
 3. Y Kawata-Shimamura, H Eguchi, R Kawabata-Iwakawa, M Nakahira, Y Okazaki, T Yoda, R Grenman, M Sugawara, M Nishiyama. Biomarker discovery for practice of precision medicine in hypopharyngeal cancer: a theranostic study on response prediction of the key therapeutic agents *BMC CANCER.* 2022.07; 22(1); 779
 4. 倉沢泰浩、森田圭一、高原楠旻、友松伸允、佐久間朋美、原園陽介、池田 通、依田哲也. エナメル上皮腫再発に關与する因子の臨床病理学的検討 *日本口腔外科学会雑誌.* 2022.04; 68(4); 184-192
 5. Terauchi Masahiko, Uo Motohiro, Fukawa Yuki, Yoshitake Hiroyuki, Tajima Rina, Ikeda Tohru, Yoda Tetsuya. Chemical Diagnosis of Calcium Pyrophosphate Deposition Disease of the Temporomandibular Joint: A Case Report *DIAGNOSTICS.* 2022.03; 12(3); 651
 6. 新垣 理宣, 勝良 剛詞, 小林 大二郎, 道 泰之, 北本 佳住, 依田 哲也, 倉林 亨. 頭頸部化学放射線治療後に多発う蝕を生じ口腔管理に苦慮した 1 例 *歯科放射線.* 2022.03; 61(2); 53-57
 7. 炭野 淳, 八木原一博, 桂野美貴, 柴田真里, 金 裕純, 原口美穂子, 石川文隆, 柳下寿郎, 出雲俊之, 桐田美帆, 濱畑淳盛, 横田治重. 口腔再建に用いた遊離皮弁の湿潤度に関する研究. *埼玉県医学会雑誌.* 2022.03; 56(2); 387-394
 8. 金 裕純、八木原一博、桂野美貴、炭野 淳、石井純一、柴田真里、角谷宏一、柳下寿郎、出雲俊之、石川文隆、横田治重. 口腔類基底扁平上皮癌の臨床病理学的検討 *埼玉県医学会雑誌.* 2022.03; 56(2); 422-427
 9. Y Maruoka, Y Michiwaki, H Sekiya, Y Kurasawa, N Natsume. What does oral care mean to society?(タイトル和訳中) *BioScience Trends.* 2022.02; 16(1); 7-19
 10. 友松伸允、和智宏太郎、和気 創、高原楠旻、儀武啓幸、依田哲也. 悪性外耳道炎より波及した感染性顎関節炎の 1 例 *日本口腔外科学会誌.* 2022.01; 68(1); 15-20
 11. 八木原一博、炭野 淳、桂野美貴、柴田真里、金 裕純、柴田恵里、角谷宏一、石井純一、松木繁男、原口美穂子、川部和美、赤澤彩佳、松田玉奈、佐藤次子、別府 武、横田治重. 当院における周術期口腔ケアの取り組み. *埼玉県医学会雑誌.* 2022.01; 56(1); 123-128
 12. 寺内正彦、布川裕規、三浦千佳、池田 通、依田哲也. 下唇に発生した Non-neural granular cell tumor の 1 例 *日本口腔外科学会雑誌.* 2022.01; 68(1); 42-47

[書籍等出版物]

1. 依田哲也. 新しい歯の教科書. 池田書店, 2022.10 (ISBN : 978-4-262-12403-2)
2. 関谷秀樹、倉沢泰浩、丸岡 豊、高橋謙一郎、兼古晃輔、道脇幸博. 高齢者診療 Up To Date(No.16) 高齢者における口腔衛生・機能管理の重要性と戦略的歯科検診 高齢手術患者の周術期口腔機能管理から隠れ口腔機能低下症を考える. (株) 医薬情報研究所, 2022.09
3. 儀武啓幸. デンタルダイヤモンド 8月号巻頭特集 どうする? 治らない顎関節症 一般開業医・口腔外科医それぞれの視点から. デンタルダイヤモンド社, 2022.08
4. 日本口腔外科学会編. 口腔外科ハンドマニュアル '22. クインテッセンス出版株式会社, 2022.07 (ISBN : 978-4-7812-0885-5)
5. 友松伸允. 歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドマニュアル. クインテッセンス出版株式会社, 2022.03
6. 村上賢一郎、儀武啓幸、依田哲也. 顎関節手術へのアプローチ 耳前切開による開放手術と人工関節全置換術でのアプローチ法. クインテッセンス出版株式会社, 2022.03

[講演・口頭発表等]

1. T Namiaki. Surgical treatment strategies for skeletal class patients based on Temporomandibular Joint Morphology.. The 12th International Conference on Dental Science and Education 2022 at School of Dentistry, Hanoi Medical University, Vietnam 2022.12.07 Hanoi, Vietnam
2. 高原楠旻. 下顎枝矢状分割術における Superfixsorb® Mx SSRO プレートの使用経験. 帝人メディカルテクノロジー株式会社 2022.11 帝人メディカルテクノロジー株式会社
3. M Terauchi, K Narita, S Yamanaka, T Yoda, E Marukawa. Amorphous Mg-Ca Coatings for Hydrophilicity Protection of Dental Implant Surfaces. The 2nd International Symposium on Design & Engineering by Joint Inverse Innovation for Materials Architecture (DeJI2MA) 2022.10.25 東京
4. 高原楠旻. 2 級症例に対する私の取り組み. ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 2022.06
5. T Tsujikawa, K Ohno, S Saburi, J Mitsuda, K Yoshimura, A Kimura, H Morimoto, G Ohmura, A Arai, H Ogi, S Shibata, Y Ariizumi, A Tasaki, R Takahashi, Y Tateishi, H Kawabe, S Ikeda, K Morita, T Tsunoda, T Akashi, M Kurata, I Imoto, Y Shimizu, A Watanabe, Y Asada, R Hayashi, Y Saito, H Ozawa, K Tsukahara, N Oridate, A Horii, T Maruo, N Hanai, H Inohara, H Iwai, T Fujii, K Nibu, S Iwae, T Ueda, R Yasumatsu, H Umeno, M Masuda, K Itoh, S Hiranou, T Asakage. Tumor immune characterization identifies age-stratified biomarkers for nivolumab in patients with head and neck squamous cell carcinoma: A nationwide collaborative study in Japan.. American Association for Cancer Research (AACR) Annual Meeting 2022; 2022 Apr 8-13. 2022.04.08 Philadelphia (PA)
1. 濱 洋平, 佐々木好幸, 添田ひとみ, 山口皓平, 岡田光純, 坂ノ下典正, 江村耕司, 弘田裕介, 水口俊介. 新しく開発した咀嚼チェックガム色判定用アプリケーションの精度検証. 日本補綴歯科学会 2022 年度 東京支部学術大会 2022.12.18 水道橋
2. 岡田光純, 濱 洋平, ニツ谷龍大, 添田ひとみ, 則武加奈子, 佐々木好幸, 田中慎二, 細田明美, 水口俊介. 高齢者における口腔機能とたんぱく質摂取量の関連. 日本補綴歯科学会 2022 年度 東京支部学術大会 2022.12.18 水道橋
3. 竹本暁, 谷本幸介, 森田圭一, 栢森高, 西村耕一, Song Shuolin, 稲澤譲治, 田中敏博. 東京医科歯科大学疾患バイオリソースセンター (BRC) におけるバイオバンク事業. 第 67 回日本人類遺伝学会 2022.12.14 横浜
4. 石橋麗未, 原園陽介, 加地博一, 高原楠旻, 依田哲也. 舌潰瘍と Butterfly appearance を呈する咽頭部粘膜斑を認めた梅毒の 1 例. 第 214 回 日本口腔外科学会関東支部学術集会 2022.12.10 東京
5. 外内えり奈, 高原楠旻, 森田圭一, 倉沢泰浩, 友松伸允, 原園陽介, 加地博一, 岩崎拓也, 依田哲也. Le Fort I 型骨切り術後の正中上顎に生じた surgical ciliated cyst の 1 例. 第 214 回日本口腔外科学会関東支部学術集会 2022.12.10 東京
6. 柴田真里, 外内えり奈, 森田圭一, 依田 哲也. Galectin 7 は CDK2 を介して細胞周期を制御する. 第 87 回 口腔病学会学術大会 2022.12.03 東京
7. 丸田 上, 原園陽介, 安西絵梨, 赤池 優, 山崎功太郎, 外内えり奈, 森田圭一, 依田哲也. 機械学習を用いた下顎智歯埋伏状態の自動分類の試み. 第 87 回口腔病学会学術大会 2022.12.03 東京
8. 友松伸允. 吸収性プレート単独での上顎固定の適応. Matrix Consensus Online 2022.12.03
9. 赤池 優, 坂本 啓, 栢森 高, 丸田 上, 山崎功太郎, 森田圭一, 池田 通, 依田哲也. 機械学習を用いた扁平苔癬様病変の病理画像における Spongiosis の自動検出. 第 87 回口腔病学会学術大会 2022.12.02 東京
10. 森田圭一, 依田哲也. 口腔外科領域における医療ビッグデータ解析の経験. 第 87 回口腔病学会学術大会 2022.12.02
11. 窪内 友哉, 下岸 将博, 柴崎 真樹, 佐藤 壮将, 兵頭 克弥, 寺内 正彦, 依田 哲也, 丸川 恵理子. ハイドロキシアパタイト・コラーゲン複合体を用いた上顎洞底挙上術の 5 年経過症例. 第 26 回 日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 2022.11.27 東京
12. 佐藤 壮将, 柴崎 真樹, 寺内 正彦, 下岸 将博, 窪内 友哉, 依田 哲也, 丸川 恵理子. ハイドロキシアパタイト・コラーゲン複合体を用いた抜歯同時顎堤形成術の 5 年経過症例. 第 26 回 日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 2022.11.26 東京

13. 中禮 宏, 林 海里, 外川海斗, 松村英尚, 高原楠旻, 上野俊明, 大関信武, 廣幡健二, 立石智彦, 柳下和慶. 海外所属選手の計画的な全身麻酔下での智歯(親知らず)抜歯の一例. 第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会 2022.11.12 札幌市
14. 丸田 上, 森田圭一, 原園陽介, 赤池 優, 山崎功太郎, 外内えり奈, 安西絵梨, 依田哲也. 機械学習を用いた下顎智歯の埋伏状態分類に関する検討. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会 2022.11.04 幕張
15. 木原恵理奈, 儀武啓幸, 佐久間朋美, 高原楠旻, 田島理那, 和気 創, 依田哲也. 咀嚼筋腱・腱膜過形成症患者に対する開口訓練単独治療の効果に関する予備的検討. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会 2022.11.04 千葉
16. 高原楠旻, 木村 敦, 小杉真智子, 岩崎拓也, 倉沢泰浩, 友松伸允, 依田哲也. 顎変形症患者における顎矯正手術後の下顎頭体積の変化と骨格的安定性. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会 2022.11.04 千葉
17. 益田洋輝, 依田哲也. ポリロタキサンの分子可動性と内皮細胞共培養による間葉系幹細胞の急速な石灰化. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会 2022.11.04 千葉
18. 朱 虹霏, 寺内正彦, 依田哲也. マクロファージへのコレステロール蓄積を抑制する -シクロデキストリン包接ポリロタキサンの破骨細胞形成抑制効果. 第68回日本口腔外科学会総会・学術大会 2022.11.04 千葉
19. 久保田真子, 大山巖雄, 津田晋平, 金丸智紀, 長谷川和樹, 稲葉好則. 高齢者口腔外科手術患者における高齢者機能評価とQOLについて. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会 2022.11.04 千葉
20. 大山巖雄, 長谷川和樹, 鶴澤成一, 山城正司, 道 泰之, 稲葉好則, 久保田真子, 金丸智紀, 岩崎拓也, 依田哲也. 下顎骨切除後の硬性再建について~3種類のプレートの使用経験の報告と考察~. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会 2022.11.04 千葉
21. 儀武啓幸. スtockタイプ全置換型人工顎関節の使用経験とその問題点. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会 シンポジウム 2022.11.04 千葉
22. 儀武啓幸. 顎関節外科会の現状と今後の課題. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会 サテライトセミナー 2022.11.04 千葉
23. 大山巖雄. 口腔がんの診断と治療~口腔がん早期診断のために~. 第145回 静岡病診がんカンファレンス 2022.11.03
24. 狩野桜子, 疋田理奈, 小林起穂, 友松伸允, 依田哲也, 東堀紀尚, 森山啓司. 外科的急速口蓋拡大術および下顎枝矢状分割術を施行した上顎狭窄歯列弓を伴う下顎後退症例. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム 2022.10.05 大阪 / Web 開催
25. 宮崎貴行, 門田千穂, 網島安望, 友松伸允, 依田哲也, 東堀紀尚, 森山啓司. 逆カントの歯性改善を図り下顎骨形態修正術および下顎枝矢状分割術を施行した顔面非対称を伴う下顎前突症例. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム 2022.10.05 大阪 / Web 開催
26. M SHIBATA, J ISHII, A ISHIKAWA, K YAGIHARA, T YODA, H KANDA. Stiffness of tongue squamous cell carcinoma by strain elastography correlates with the amount of collagen fibers. 第81回日本癌学会学術大会 2022.09.29 横浜
27. 竹本 暁, 谷本幸介, 森田圭一, 栢森 高, 西村耕一, Song Shuolin, 稲澤譲治, 田中敏博. 東京医科歯科大学疾患バイオリソースセンター(BRC)におけるバイオバンク事業. 第81回日本癌学会学術総会 シンポジウム 2022.09.29
28. 加藤夢乃, 鈴木瞳, 杉本久美子, 高原楠旻, 辻美千子, 森山啓司, 小野卓史, 依田哲也, 樺沢勇司, 吉田直美. 顎変形症患者の顎矯正手術後の口腔ケアと歯科衛生士の関わり. 第17回日本歯科衛生学会学術大会 2022.09.18 Web
29. 198. 鈴木恵子, 尼田昭, 吉村亮一, 佐々木好幸. 「放射線治療を受ける頭頸部がん患者の体重減少への影響の検討」後ろ向き観察研究. 日本放射線看護学会 第11回学術集会 2022.09.17 オンライン開催
30. 長岡 亮介. 軟組織も診る目を養おう. 口腔粘膜疾患講習会 2022.09.03
31. 儀武啓幸. 顎関節人工関節全置換術のためのキャダバーサージカルトレーニング. 第12回日本口腔外科学会キャダバーサージカルトレーニング 2022.08.27 名古屋(2日間)

32. 竹本 暁、谷本幸介、森田圭一、栢森 高、西村耕一、Song Shuo Lin、稲澤譲治、田中敏博. 東京医科歯科大学バイオバンク事業及び大腸癌における癌関連遺伝子変異解析. 第7回クリニカルバイオバンク学会シンポジウム 2022.07.08 岡山、Web
33. 儀武啓幸. 滑膜軟骨腫症の診断と治療. 第35回日本顎関節学会総会・学術大会 ミニシンポジウム 2022.07.02 札幌
34. 中村大志、高原楠旻、柴田真里、儀武啓幸、依田哲也. 顎関節授動術長期経過後のシリコンシート迷入による類隙異物の1例. 第35回日本顎関節学会学術大会 2022.07.01 札幌
35. 柴田 真里、高原 楠旻、佐々木 好幸、友松 伸允、倉沢 泰浩、依田 哲也. 下顎枝矢状分割術後に生じるオトガイ部感覚障害の危険因子の同定. 日本口腔科学会雑誌 2022.07.01
36. 道川千絵子、出雲俊之、依田哲也、鶴澤成一. 微小転移における被膜外浸潤. 第46回日本頭頸部癌学会 2022.06.17
37. 大山巖雄、稲葉好則、久保田真子、金丸智紀、長谷川和樹. 進行口腔扁平上皮癌におけるサルコペニア及び栄養評価と予後との関係について. 第46回日本頭頸部癌学会 2022.06.17 奈良
38. 中久木康一、友松伸允、高原楠旻、岩崎拓也、赤池 優、原園陽介、木村 敦、佐久間朋美、倉沢泰浩、細木美佐、依田哲也. 上下顎骨骨切り術におけるハイドロキシアパタイト含有ポリ-L-乳酸製骨接合材に関わる偶発症の検討. 第32回日本顎変形症学会総会・学術大会 2022.06.09
39. 高原楠旻、友松伸允、木村 敦、倉沢泰浩、山本大介、丸田 上、依田哲也. 下顎前突症と下顎後退症におけるLeFort I型骨切り術の移動精度について. 第32回日本顎変形症学会総会・学術大会 2022.06.09 新潟
40. 友松伸允、赤池 優、佐藤雄大、高原楠旻、倉沢泰浩、依田哲也. 吸収性プレート (Rapidisorb) を用いたLeFort I型骨切り術の術後安定性について. 第32回日本顎変形症学会総会・学術集会 2022.06.09 新潟
41. 原園陽介、外内えり奈、石橋麗美、正木啓太、安西絵梨、高原楠旻、森田圭一、依田哲也. 粘膜下口蓋裂の治療方針に関する臨床的検討. 第46回日本口蓋裂学会 2022.05.26 鹿児島
42. 儀武啓幸. 滑膜軟骨腫症, 咀嚼筋腱・腱膜過形成症, 筋突起過形成症の診断と治療. 日本顎関節学会 第54回学術講演会 2022.05.22 web
43. 赤池 優、香月佑子、原園陽介、友松伸允、赤津千絵、丸田 上、依田哲也. . ブドウ糖硬化療法が奏功せずOK-432が有効であった舌下顎下方ラヌーラ(ガマ腫)の1例. 第213回日本口腔外科学会関東支部学術集会 2022.05.21 東京
44. 柴田真里、高原楠旻、佐々木好幸、友松伸允、倉沢泰浩、依田哲也. 下顎枝矢状分割術後に生じるオトガイ部感覚障害の危険因子の同定. 第76回日本口腔科学会学術集会 2022.04.22 福岡
45. 久保田真子、稲葉好則、金丸智紀、森木利昭、大山巖雄. 歯冠大の含菌性嚢胞の長期間放置により下顎下縁まで移動した下顎埋伏智歯の2例. 第76回NPO法人日本口腔科学会学術集会 2022.04.21 福岡
46. 友松伸允. Rapidisorbの1年後. OGS Webiner 2022.03.07
47. 儀武啓幸. 顎関節の臨床解剖. 一般社団法人日本顎関節学会 認定医受験に向けた講習会 2022.02.20 Web
48. 金 裕純、八木原一博、炭野 淳、桂野美貴、石井純一、角谷宏一、柴田恵理、石川文隆. 口底に発生した乳頭状扁平上皮癌の1例. 第40回日本口底腫瘍学会総会、学術大会 2022.02.14 群馬、Web
49. 大山巖雄. 医科歯科連携における歯科医師の役割～最新の口腔外科治療から医科歯科連携における口腔管理について～. 静岡県歯科医師会 2022.02.06

[その他業績]

1. 依田哲也: ヒト顎口腔組織由来多能性細胞の採取部位別幹細胞特性の違いと組織特異的分子マーカーを同定～顎口腔組織多能性細胞の再生医療への応用課題と有用性～, 2022年06月

[社会貢献活動]

1. 南極派遣医師に対する歯科トレーニング, 国立極地研究所、東京医科歯科大学、東京医科歯科大学, 2019年 - 現在
2. 人工顎関節全置換術, 名古屋市立大学口腔外科学分野, 第12回日本口腔外科学会キャダバーサージカルトレーニング, 名古屋市立大学, 2022年08月27日 - 2022年08月28日